

野球 平成29年度春季近畿地区高等学校野球滋賀大会

2回戦 彦根東 13-2 玉川



速報新聞

キマグレ

発行所 彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号



5回にホームランを打った岩本君

打線爆発

7回コールドで1回戦突破



▲松井君は5回で与四死0と安定したピッチングを見せた。

県平近校のれ部校一利にで季学会わ球高13勝22日場春等大行野川、で月根年度高賀が枝玉し差4彦29地区滋賀本立戦大た立成畿野2たはと2を

本校は1回表に四球などで走者をため5番辻山知志君(3-6)の適時二塁打で2点を先制。その裏に1点を返されたが、4回表に2アウトから再び走者をため1番原晟也君(3-8)と2番朝日晴人君(2-4)の連打で3点を追加した。5回表には4番岩本道徳君(3-5)の本塁打、6回表には再び2アウトから走者をため岩本君、辻山君の

連打など打者一巡の猛攻、さらに7回表にも増居翔太君(2-4)の適時二塁打など打者一巡の猛攻を見せ、計8点を追加し、大差をつけ試合を決めた。また守備においても主将で先発投手の松拓真君(3-5)が打たせて捕る投球を徹底させ、被安打6、失点2と試合を作った。

松井君は投手、また主将として今回の試合を「コールドするつもりで挑み、それができてよかった。初戦で緊張したこともあって初めはガタガタだったのが相手が強ければ負けていた。味方のエラーの後に打たれたので、味方のミスをカバーできるようにしたい。次の試合は自分たちの試合運びをして、コールドで、勝つべくして勝ちたい」と振り返り、意気込んだ。

岩本君は5回に本塁打を打ったことについて「チームが悪く、霧気だったので変えたかった。思いきり振り切った」と話し「自分のミスから2点の失点につながったので、ほかの人が頑張ってくれてよかった。次はもっとチームに貢献できるように頑張りたい」と試合を振り返った。

先制適時打を含めた計4打点の辻山君は「初回の大事な場面で打ってよかった。しかし1度のチャンスを無駄にしたので、1週間頑張りたい。」と次の目標を話した。

全打席で出塁した原君は試合を「ほとんど四球だったので自分は1番だったので出塁できてよかった。また自分たちのやってきたことができなかった。1週間頑張りたい」と振り返った。

監督の村中隆之先生は今試合に「3、4回までは主導権が握れずしんどかったが、2アウトから打線がつながったのはよかった。良い内容の安打が多かったがヒットエンドランから点につながる攻撃ができず、取れないといけない1点が取れなかった。今後は取れるようにしたい」とコメントされた。

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	R
彦根東	2	0	0	3	1	4	3	13
玉川	1	0	0	0	1	0	0	2